



目的 地域安全に関係する機関と警察が連携し、地域安全活動の浸透と定着を図るため

## ①ニセ電話詐欺対策【令和5年8月末（暫定値）被害額7億1,080万円】

- ◆電話でお金の話が出たら要注意！電子マネーカードで支払いは全て詐欺！
- ◆一人で判断せず、家族・警察・自治体などにまずは相談を
- ◆防犯機能付き電話機器【まっ太フォン】と留守番電話設定が有効

## ②子どもと女性の防犯対策

- ◆『いかのおすし』 について **い**かない・**か**乗らない・**お**大声を出す・**す**すぐに逃げる・**し**知らせる
- ◆スマートフォンはフィルタリングをかけるなど、使用のルールを決める
- ◆人通りの多い道や明るい道を選んで帰る◆防犯アプリ『みまもっち』を活用する

## ③防犯ボランティア活動

- ◆ながら防犯で子どもへの目配り・気配り～買い物しながら、通勤しながらなど
- ◆公園や通学路など、子どもが集まる場所に目をかける◆普段から子供と挨拶を交わす
- ◆空き地など、危険な場所にいる子どもに声をかける

うきは警察署生活安全課生活安全係 ☎76-5110

## 浮羽消防署 ニュース 着衣着火に注意！



着衣着火とは、その名のとおり着ている服に火が着くことです。

久留米広域消防本部管内で、着衣着火が原因で死亡するという痛ましい事故も発生していますので、決して他人事ではありません。

事故の原因や事故防止のためのポイント、発生時の対処法を含めてお伝えします。

### 着衣着火の原因は？

草焼きバーナーの燃料ホースが破れているにも関わらず使用したり、ガスコンロの火に服の袖口が接触し着火したなど、使用する人の不注意がほとんどです。

### 事故防止のポイント

- ①ガスコンロや電気ストーブ等を使用するときには、服と炎等の距離を意識して近づきすぎない。
- ②火を扱うときは、袖や裾が広がった服やひも付きの服などを避ける。
- ③火を使用する器具は日頃から点検し、不具合があるものは使用しない。

### いざという時の対応策

- ①周囲の人や家族に助けを求める。
- ②ストップ、ドロップ&ロール（止まって、倒れて、転がる）を行う。燃え上る可能性があるため、絶対に走らない。
- ③できる限りはやく、水や消火器などで消火する。

久留米広域消防本部浮羽消防署 ☎0943-72-4193

## 防災だより No.42 自然災害の比較的少ない『今こそ』災害の備えを 「耐震診断」「耐震改修工事」のすすめ

昭和56年（1981年）6月1日を境に耐震基準が異なります。

5月31日以前：旧耐震基準

- ・「耐震診断」「耐震改修工事」費用の助成があります
- 問合せ 建設課建築係 ☎75-4987

6月1日以降：新耐震基準

- ・震度6～7程度の揺れでも家屋が倒壊・崩壊しないことを基準。
- ・これまでよりも耐震性に関する規定が厳格化されました。



※新耐震基準で建てられた建物でも、全く壊れないということではありません。

市民協働推進課 ☎75-4982  
防災ネットワーク・うきは ☎090-4985-1124